

海の事件簿

(11) 岩並秀一

海洋調査

海上保安庁在職中に関わった出来事の多くは警備救助に關するものでした。難に來る事案にまつわることも多かったです。東日本大震災発生から約3年後の平成26(2014)年4月に本部長として赴任した第三管区海上保安本部では、震災対応が依然として続いていました。東北の太平洋岸では、地震発生と同時に大きい所で1メートル以上地盤が沈降しましたが、その後「余効変動」と大きく西側に広がり、領海

水深が深くなる地盤沈降に対し、水深が浅くなる地盤上昇は、船舶航行にとってはより深刻です。

このため海上保安庁では、地震直後に水路測量を行って海図を改訂しましたが、再測量により再度海図を改訂する作業を続けています。また、その頃、再噴火にして続いていました。東北諸島の西之島では、平成28(2016)年末頃には

いう現象が続いており、逆に地盤が上昇しています。

水深が深くなる地盤沈降に對し、水深が浅くなる地盤上昇は、船舶航行にとってはより深刻です。

このため海上保安庁では、地震直後に水路測量を行って海図を改訂しましたが、再測量により再度海図を改訂する作業を続けています。また、その頃、再噴火にして続いていました。東北諸島の西之島では、平成28(2016)年末頃には

のみならず、排他的經濟水域(EEZ)も大きく広がることになりました。

このように、海岸線や海

底地形は絶えず変化します。国連海

洋法条約では、領海・EEZの根拠

について「通常の基線は、沿岸国が

公認する大縮尺海

図に記載されています。

このため海上保安

本部では、「低潮高地」の

発見は、領海・EEZの拡

大につながることが期待さ

れます。このため海上保安

局では、西之島のみなら

ず、日本周辺の低潮線を

測定します。

また、隣接国が日本とは

異なる大陸棚境界を主張す

ばれる低潮時に海面上に姿

を現す岩礁が陸地や島の低

潮線から12海里(約22キロ)

内に存在するときには、そ

の「低潮高地」を領海の基

線とすることができるた

め、新たな「低潮高地」の

発見は、領海・EEZの拡

大につながることが期待さ

れます。このため海上保安

局では、西之島のみなら

ず、日本周辺の低潮線を

測定します。

また、隣接国が日本とは

異なる大陸棚境界を主張す

ばれる低潮時に海面上に姿

を現す岩礁が陸地や島の低

潮線から12海里(約22キロ)

内に存在するときには、そ

の「低潮高地」を領海の基

線とすることができるた

め、新たな「低潮高地」の

発見は、領海・EEZの拡

大につながることが期待さ

れます。このため海上保安

局では、西之島のみなら

ず、日本周辺の低潮線を

測定します。

また、隣接国が日本とは

異なる大陸棚境界を主張す

ばれる低潮時に海面上に姿

を現す岩礁が陸地や島の低

潮線から12海里(約22キロ)

内に存在するときには、そ

の「低潮高地」を領海の基

線とすることができるた

め、新たな「低潮高地」の

発見は、領海・EEZの拡

大につながることが期待さ

れます。このため海上保安

局では、西之島のみなら

ず、日本周辺の低潮線を

測定します。

また、隣接国が日本とは

異なる大陸棚境界を主張す

ばれる低潮時に海面上に姿

を現す岩礁が陸地や島の低

潮線から12海里(約22キロ)

内に存在するときには、そ

の「低潮高地」を領海の基

線とすることができるた

め、新たな「低潮高地」の

発見は、領海・EEZの拡

大につながることが期待さ

れます。このため海上保安

局では、西之島のみなら

ず、日本周辺の低潮線を

測定します。

また、隣接国が日本とは

異なる大陸棚境界を主張す

ばれる低潮時に海面上に姿

を現す岩礁が陸地や島の低

潮線から12海里(約22キロ)

内に存在するときには、そ

の「低潮高地」を領海の基

線とすることができるた

め、新たな「低潮高地」の

発見は、領海・EEZの拡

大につながることが期待さ

れます。このため海上保安

局では、西之島のみなら

ず、日本周辺の低潮線を

測定します。

また、隣接国が日本とは

異なる大陸棚境界を主張す

ばれる低潮時に海面上に姿

を現す岩礁が陸地や島の低

潮線から12海里(約22キロ)

内に存在するときには、そ

の「低潮高地」を領海の基

線とすることができるた

め、新たな「低潮高地」の

発見は、領海・EEZの拡

大につながることが期待さ

れます。このため海上保安

局では、西之島のみなら

ず、日本周辺の低潮線を

測定します。

また、隣接国が日本とは

異なる大陸棚境界を主張す

ばれる低潮時に海面上に姿

を現す岩礁が陸地や島の低

潮線から12海里(約22キロ)

内に存在するときには、そ

の「低潮高地」を領海の基

線とすることができるた

め、新たな「低潮高地」の

発見は、領海・EEZの拡

大につながることが期待さ

れます。このため海上保安

局では、西之島のみなら

ず、日本周辺の低潮線を

測定します。

また、隣接国が日本とは

異なる大陸棚境界を主張す

ばれる低潮時に海面上に姿

を現す岩礁が陸地や島の低

潮線から12海里(約22キロ)

内に存在するときには、そ

の「低潮高地」を領海の基

線とすることができるた

め、新たな「低潮高地」の

発見は、領海・EEZの拡

大につながることが期待さ

れます。このため海上保安

局では、西之島のみなら

ず、日本周辺の低潮線を

測定します。

また、隣接国が日本とは

異なる大陸棚境界を主張す

ばれる低潮時に海面上に姿

を現す岩礁が陸地や島の低

潮線から12海里(約22キロ)

内に存在するときには、そ

の「低潮高地」を領海の基

線とすることができるた

「平洋」「光洋」や航空機に期待



一昨年1月に就役した海保では最大の測量船「平洋」

のみならず、排他的經濟水域(EEZ)も大きく広がることになりました。このように、海岸線や海の底地形は絶えず変化します。国連海洋法条約では、領海・EEZの根拠について「通常の基線は、沿岸国が公認する大縮尺海図に記載されています。このため海上保安公認する大縮尺海図に記載されています。このため海上保安局では、西之島のみならず、日本周辺の低潮線を測定します。更には、条約上異なる大陸棚境界を主張する東シナ海では、日本の主張を裏付けるために、海底地形のみならず地殻構造などの調査も不可欠です。このように昨日、海洋調査に関する業務について、内に存在するときには、その「低潮高地」を領海の基線とすることができるたために、海上交通の安全、防災、海洋環境の保全に加えて、領域や海洋権益の保全の観点からもますます重要な調査になってきています。これまで進めてきた大型測量船「平洋」「光洋」の増強建造や初めての測量専用航空機の導入といった体制強化により、海洋調査が一層進展することが期待されます。

(第45代海上保安庁長官)

ニイズベ